

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	百貨店（サービス担当）	・今後も傾向に変化はなく、食料品フロアの改装効果で好調に推移するほか、猛暑の予想を受けてUVカット商材の展開を拡大し、来客数の増加を促す。
	○	百貨店（外商担当）	・ここ数か月のマイナス要因である、不安定な原油価格や株価といった不安要素が改善している。それに伴い、客の購買意欲が上向いている様子が、会話を通して伝わってくる。
	○	百貨店（売場マネージャー）	・株価の上昇が消費には追い風となる。円安傾向も継続しており、これから夏休みに突入すると、国内消費が活性化すると予想される。
	○	百貨店（商品担当）	・インバウンドに関しては、中東情勢がやや落ち着いたことがプラスとなるほか、国内客では株高の恩恵を受けた人の動きが活発になる。
	○	百貨店（売場統括）	・中東情勢の収束に加え、中国経済の回復も9月頃に始まると予想される。
	○	スーパー（企画担当）	・政府の物価対策として、自治体からの商品券や地域通貨などによる支援の対象店舗が複数あり、全体の売上の底上げに寄与すると予想される。梅雨も明けるため、7～8月は売上の増加が期待される。
	○	スーパー（企画）	・今月末から地方自治体によるプレミアム付商品券の使用が始まるため、買上点数の増加が期待される。
	○	コンビニ（経営者）	・気温が高くなり、飲料が売れるほか、中食を始めとする菓子類の期間限定品が多く出るため、販売の増加を目指す。
	○	コンビニ（経営者）	・来客数は伸び悩みそうであるが、今後も値上げラッシュが控えており、客単価の上昇が期待できる。
	○	コンビニ（経営者）	・多くの商品が値上げとなるため、見通しは厳しい。ただし、秋までは様々なイベントが続くため、活気が出てくる。
	○	コンビニ（経営者）	・繁忙期に入るため、状況は良くなる。
	○	コンビニ（店員）	・夏になると、涼を求めてコンビニを利用する客も増えるため、ついで買いの動きが増えてくる。
	○	コンビニ（店員）	・長期休暇のシーズンになればまた増える。
	○	家電量販店（経営者）	・客への補助金制度の認知が進んでおり、案件の増加が期待される。
	○	家電量販店（店員）	・暑くなる頃には、新たな省エネ基準の導入による駆け込み需要で、大きく動くと思われる。
	○	家電量販店（営業担当）	・中東情勢が落ち着くという条件付で、やや良くなる。
	○	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・来月はボーナス商戦で、売上もかなり期待できる。ふだん購入しているものよりも、ワンランク上の商品の購入が期待される。
	○	高級レストラン（企画）	・中国からのインバウンドの回復や、中東情勢の安定化により、インバウンド全体の需要増加が見込まれる。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・今後の推移次第であるが、前年並みの予約は受注できている。単価の上昇は厳しいが、販売室数の増加でカバーしていく。バス旅行によるランチ需要は好調に受注できているため、ディナーの販売でも収入を確保する。
	○	旅行代理店（役員）	・中東情勢の一定の進展を受けて、中東系航空会社を利用した欧州方面への旅行需要も、ある程度の回復が見込まれる。また、原油価格も落ち着きを取り戻すため、航空運賃などへの影響の緩和が期待される。
○	通信会社（社員）	・地方経済の大幅な改善は余り見込めないが、インターネットサービスへの申込件数は顕著に伸びており、付随サービスの契約率も改善傾向にある。	
○	通信会社（社員）	・ボーナス商戦に入るほか、夏休み前には15歳未満の客による需要が増える。	
○	住宅販売会社（経営者）	・中東情勢が少し改善され、各種資材が市場に行き渡ることで、様々な価格に落ち着きが戻ってくる。	
□	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・まだ良くなる材料が見当たらない。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店 [化粧品] (経営者)	・今年の夏商戦はかなり暑くなり、湿度も上がることが予想されるため、スキンケアや紫外線関連の需要は活性化するが、海外のスキンケア商材にはヒット商品がなく、既存品の販売となるため、苦戦が続くと予想される。一方、ハンドケアやボディケアなどの商材は、自家需要やギフト関連での好調が予想され、現状並みの伸びが期待される。全体としては、来客数、客単価共に、現状の動きが継続できそうである。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [野菜] (店長)	・変わる要素が見当たらない。物価の上昇が進むなか、年金が増える動きはあるものの、先行きが不透明な状況で買い控えの傾向がみられる。来年の食品に対する消費税率引下げで、少し上向くことが期待できる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [呉服] (店員)	・経済が安定せず、給料に対する不安もあるため、高級品には手が伸びない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [菓子] (営業担当)	・梅雨が明け、人の動きが少し活発になれば、商品の動きも良くなることが期待される。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (企画担当)	・免税売上には円安の影響が大きく、国内売上には株高が大きな影響を及ぼしているため、今後の状況次第では大きく変化する可能性がある。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (広報担当)	・中東情勢の行方には不透明な部分が残るが、今年度の水準のまま推移すると予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・前月と同様に、ここ数か月は目立った変化がない。国内客は外商を中心とした富裕層が好調に推移している一方、富裕層以外のボリューム層は前年並みとなっている。インバウンドは中国人客の減少が続いているが、単価の上昇で来客数の減少をカバーしている。特に、台湾やタイ、韓国などのアジア圏のインバウンドが来客数、単価共に好調な推移となっている。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・外的要因による原材料価格の上昇もあるが、全体の傾向は変わらない。富裕層やインバウンドの売上は好調を維持し、全体を押し上げる一方、中間層は選択消費のほか、購入シーンや購入分野の2極化が更に進む。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (販売推進担当)	・物価の上昇による生活防衛意識の高まりと、株価の高騰による富裕層の絵画や高級腕時計の購買意欲の向上で、2極化はますます広がる。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (外商担当)	・株高の継続により、富裕層の高級品への購買意欲は高い状態が続くほか、円安の進行により、インバウンドによる買物が更に増える傾向が高まる。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (営業推進担当)	・物価の上昇に加え、燃料費の高騰も進むため、消費マインドの厳しい状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・不安定な中東情勢や、米国の政権動向など、不確定要素が多い。ただし、明確な下振れ要素とは言い切れず、先行きは不透明である。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (宣伝担当)	・国内客の生活防衛意識は続くほか、インバウンドも航空運賃の高騰で減少が予想される。最近の傾向から、クリアランスセールに客が殺到することもないため、厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (商品担当)	・中東情勢は一旦好転したものの、先行きには不安も多く、消費者マインドの向上にはつながっていない。また、お中元商戦は売上が減り、年1回のお歳暮のみに変更する客も多い。円安や燃料価格の高騰で海外旅行需要が低下し、インバウンドによる混雑で国内旅行も控え気味となるなか、夏物衣料などの関連商品も苦戦している。
<input type="checkbox"/>	スーパー (経営者)	・現状は、景気を刺激するような要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・定期的な値上げのほか、中東情勢によって物価が上昇するイメージが強まっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・良くなる理由がないが、中東情勢に若干落ち着きがみられるため、良い方向に向かう可能性はある。ただし確証はないため、大きくは変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・特定の層以外では収入が増えていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (経理担当)	・各地で自治体の消費喚起策が実施されつつあるほか、中東情勢も予断を許さないものの、収束に向かいつつある。ただし、値上げの商品数は高止まりし、ボーナスの増加効果も限定的であるなど、消費が好転する材料には乏しい。

<input type="checkbox"/>	スーパー（社員）	・厳しい状況は、現在の値上げ傾向が一段落すれば落ち着くと考えていたが、今後も価格上昇は当面続くため、なかなか良くならない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画）	・中東情勢の影響が解消される10月頃には、最低賃金の引上げもあるため、今後も物価の上昇が続く。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・物価上昇により、客の節約傾向は今後も続く。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・SNSによる流行は急激な動きとなるが、すぐに次の流行に移る点が残念である。今までも様々な流行に乗ることはあったが、一過性の動きであり、今回もしばらくすれば落ち着く。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・売上や来客数に悪い印象は受けないが、物価の上昇や世界情勢の推移をみる限り、まだ上向きとは言い難い。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・あらゆる商材価格が高騰し、来客数も減少する。家電量販店では季節商材の動きが予想される一方、その他の商品の動きは鈍くなる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・夏の暑さによるエアコンや冷蔵庫の故障、経年劣化のほか、省エネ性能の改善を求めた一定の夏物商材の買換えが見込まれる。一方、それ以外は各メーカーの値上げやリフォーム補助金の支給条件の見直しにより、買い控えが起きると予想される。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（人事担当）	・梅雨が明けると、本格的な暑さが始まる。新たな省エネ基準の導入を控え、まだエアコンを購入していない客の買換え需要に期待している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・中東情勢によりエンジンオイルなどが入荷せず、整備関連の収入が減っている。今後の見通しも良くない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	・久々の新型モデルの発売に期待しているが、不安定な社会情勢もあり、今後の販売台数は不透明である。また、中東情勢の影響による新車の配車遅延や、エンジンオイル不足によるサービス売上の停滞が懸念される。株価は上昇傾向にあるものの、車の買換え需要の活発化にはつながっておらず、自動車業界として新たな活性化の方向性を示さない限り、現状は続く。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・中東情勢が収束に向かうことで、原油価格は落ち着くものの、現状を上回るほどの改善は見込めない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・一部の職種は好調でも、全体的な景気は良くなっていない。やはり手取り収入が増えなければ、販売台数も伸びてこない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・今後も都心部に偏った販売が続き、地方は厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔食品〕（経営者）	・所得の伸びが物価上昇に追い付いていないため、全体の消費は落ち込むしかない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・短期間での地金相場の変動幅が大きく、仕入コストが増減するたびに価格調整を行っているものの、利益の不安定な状態は続く。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・夏物商材やボディケア用品は順調に推移しているが、生活必需品を含む全体では、横ばいか減少傾向が続いている。これから本格的な気温の上昇に伴い、飲料などを含む夏物商材の売上は増加が見込まれるため、食品や日用雑貨などの売上も増加に転じる。ただし、全体としては、食品の値上げも続いているため、大きな上昇要因は見当たらない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・例年、暑さが厳しい間は客足がなかなか増えないため、余り期待できない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・円安によるコスト増加で価格転嫁を行い、販売価格が上昇するため、利用の減少が懸念される。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・当市でプレミアム付商品券の発行が始まり、飲食店での利用につながることを期待したい。ただし、なかなか落ち着かない中東情勢の影響による資材の不安定な供給や仕入価格の改定に加え、警報級の悪天候が続いていることもあり、景気が上向くことは難しい。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	・原材料費の上昇は少し落ち着いてきたが、水準としては高止まりしている。中東情勢の影響で物流費の上昇がみられる一方、包材や資材などの消耗品の価格は落ち着いてきている。

□	観光型ホテル（経営者）	・来月も前年のような大阪・関西万博の開催特需はなく、プラス材料は見当たらない。近隣の同業他社からも、余り景気の良い話は聞かえてこない。
□	観光型旅館（経営者）	・予約状況の推移からは、回復の見込みが確認できない。
□	都市型ホテル（管理担当）	・消費税率の引下げ動向も不透明であり、将来の景気が良くなりそうな兆しがみられない。
□	旅行代理店（役員）	・現在の株高や円安の状況が大きく変わる感覚はない。消費税減税についても、客とのふだんの会話では全く出てこないため、景気が大きく変わることはない。
□	通信会社〔貴金属オークション〕（経営者）	・先行きが読みにくいため、市況が上向きに転じるのは、もう少し先と予想される。
□	テーマパーク（職員）	・施設の運営にはスタッフが必要であるが、最低賃金上がるたびに、スタッフの減員を検討しなければならない。
□	観光名所（企画担当）	・4月以降は、少し上向いているとみられたが、直近は前期並みとなっている。
□	競艇場（職員）	・賃上げの動きや物価の上昇、海外情勢の変化に加え、政治面での影響など、様々な要因がいかに作用するかを見極めるのは難しい。
□	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・物価上昇による節約志向や経費削減意識が強いため、利益が伸びる傾向とはならない。
□	その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・プロ野球の交流戦は終了したが、今年は、人気球団の主催試合が8試合あるほか、多くのコンサートも開催されるため、多数の来場者を予想している。
□	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・物価上昇に対して、客が財布のひもをどこまで締めるのかにもよるが、レジャーへの支出は選別しながらも、支出額は大きく減らさないとみられる。
□	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・アロマオイルを使ったマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも暖かい時期の方が来客数は増える。
□	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・リニューアル業務に人手が取られ、点検業務での人手不足が目立っている。現在の人員をやり繰りし、何とか現場が回っている状況であり、短期的に改善されるめどは立っていない。
□	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・物価上昇が続くこともあり、新築価格の上昇傾向は大きく変わらないため、販売量の大幅な増加はないが、大きく減少することもない。
▲	一般小売店〔時計〕（経営者）	・夏に向けて最も気になるのは気温であり、路面店である当店で、猛暑が続くと途端に客足が落ちる。大型商業施設とは異なり、特定の目的で来店するため、急ぎの用事でなければ来店にはつながらない。猛暑の上の、酷暑という言葉ができたことで、暑さへの覚悟が必要となっている。
▲	一般小売店〔手ぬぐい〕（経営者）	・様々な値上げが行われ、消費マインドが低下している。
▲	一般小売店〔書籍〕（管理担当）	・業界全体としては下向きであり、増加に転じる可能性は低い。
▲	百貨店（売場主任）	・中東情勢が今後改善しなければ、大きな影響が出てくる。既に様々な資材価格の高騰が続いており、商品の値上げも相次いでいるため、インフレによる買い控えが懸念される。
▲	百貨店（販促担当）	・10月までは暑い夏が続くと予想されるなか、今年は特に動き出しが早く、好調であった分、秋口での消費減退が懸念される。食料品に関しても、秋の旬の品ぞろえを、温かいメニューではなく、さっぱりした味での提案にするなど、今の気候に合わせた提案が重要となる。
▲	スーパー（店員）	・台風や雨の影響で、確実に野菜の価格が上がるため、今後は厳しくなる。
▲	スーパー（企画担当）	・インフレが止まらないほか、猛暑の悪影響が懸念される。
▲	スーパー（販売促進担当）	・関西への競合企業の参入は今後も加速するため、当面は競争過多の状況が続く。
▲	スーパー（開発担当）	・中東問題がまだ解決されず、原油が入ってこない。消費は冷え切っており、賃金も上がらないため、景気が良くなることはない。
▲	コンビニ（経営者）	・物価上昇が進むため、更に厳しくなる。
▲	コンビニ（店員）	・毎月、様々な物の価格が上がるため、見通しは厳しい。
▲	衣料品専門店（店員）	・閑散期のため、やや悪くなる。

▲	家電量販店（店員）	・中東情勢の影響によって納期の遅れが出る。新たな省エネ基準の導入で、5月に特需が発生したため、夏はエアコンの売上が減少することが予想される。
▲	乗用車販売店（経営者）	・インフレ傾向で先行きが不透明なため、買い控えの動きが増える。
▲	乗用車販売店（経営者）	・問屋からオイル類を買うことができなくなっている。
▲	住関連専門店（店員）	・良くなる要因が見当たらない。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・原油価格は以前の水準に戻ったものの、そもそも物価上昇に加えて、ナフサ関連価格の上昇もあり、先行きの景況感は現在よりもやや悪くなる。
▲	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・物価の上昇により、制服類の買換え頻度が減っている。
▲	その他小売〔ネット通販〕（管理担当）	・今後は夏に向けて再値上げが控えており、生活防衛意識による買い控えが、ネット通販でも更に強まると予想される。メルマガの開封率やクーポン利用時の反応を分析しても、低価格帯のセール品にアクセスが集中する一方、利益率の高い定番品や高額商品の動きが鈍い。
▲	一般レストラン（経営者）	・円安がかなり進んでおり、毎月のように値上げが続いているため、消費者の財布のひもは固くなる。
▲	その他飲食〔洋菓子〕（管理担当）	・駅周辺での工事により、客の動線への影響が生じるほか、今年の夏は酷暑の影響も懸念される。
▲	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・金利が上がリ、生活が厳しくなるなかで、周辺環境は更に悪化する。
▲	観光型旅館（経営者）	・景気の状態次第であるが、特に良い材料は見当たらない。
▲	都市型ホテル（客室担当）	・夏場にかけて、例年どおりの低稼働となる。
▲	都市型ホテル（客室担当）	・夏休み期間に入るため、テーマパークの利用者による宿泊は見込めるが、宿泊代金を節約する傾向が顕著にみられる。前年は大阪・関西万博の効果で高価格での販売が増えたこともあるが、先行予約では単価が前年を下回っている。
▲	都市型ホテル（客室担当）	・中東情勢のこう着した状態が響いており、先行きが懸念される。
▲	通信会社（経営者）	・円安が更に進むと予想される一方、輸出品全般での値上げへの対応が追い付かない。
▲	通信会社（営業担当）	・半導体やメモリの価格が下がる見込みがないため、今後も機器価格の高騰が止まらない。
▲	遊園地（経営者）	・中東情勢の影響による、電気代の上昇が始まることで、財布のひもが固くなる。
▲	ゴルフ場（支配人）	・予約状況を考慮すると、徐々に悪化傾向となる。中東情勢の影響で上昇した仕入コストも据え置かれており、今後はやや悪くなることが予想される。
▲	競輪場（職員）	・世界情勢や物価上昇、円安傾向などが、今後どのように推移するのか見当が付かない。
▲	美容室（店員）	・来店周期が伸びているため、先行きが懸念される。
▲	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・会費の値上げなどで、中学生を中心に退会者が増えると予想される。
▲	住宅販売会社（経営者）	・先行きの仕入価格が読めないほか、建築需要もなかなか上がってこない。
▲	住宅販売会社（従業員）	・実需層向けに販売中の新築分譲マンションの売行きが鈍化し、在庫が増加している。さらに、新たな新築マンションも販売開始となり、供給数が増加することで、競争の激化にもつながる。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・今後の中東情勢の影響や、物価、金利の上昇により、景気は下降する。
▲	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・金利の上昇により、住宅購入に対する消費者マインドは、今後冷え込むと予想される。
×	商店街（経営者）	・物価上昇の悪影響が出る。
×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・物価が更に上がり、中東情勢による石油の安定確保も見込めないなかで、景気が良くなることはない。ますます悪くなるという不安だけが大きくなっている。

	×	一般小売店 [ガラス細工] (店長)	・現状のまま推移する場合、あらゆる製品の製造が滞るおそれがあり、値上げでの対応以前の問題になりつつある。
	×	衣料品専門店 (経営者)	・仕入価格、販売価格共に上がっているため、商品の値上がりにつながっている。
	×	衣料品専門店 (経営者)	・中東情勢が依然として不安定なため、石油製品の価格高騰につながる。
	×	家電量販店 (店員)	・経費の高騰により、商品価格や工事の作業代が上昇する。
	×	住関連専門店 (店長)	・建築、インテリア業界では原材料不足などで、現場から工事の遅延といった声が出始めている。納品の遅れによって、売上の回収時期も延期となる懸念がある。
	×	一般レストラン (店員)	・前年の売上よりも減っているほか、来客数も減少しており、今後上がる要素が全く見当たらない。
	×	その他飲食 [ジャズバー] (店員)	・物価の上昇で、消費者の価値観が変わってきている。
	×	タクシー運転手	・物価の上昇が続くなか、市中に資金を供給しなければ、景気は良くならない。
	×	通信会社 (役員)	・端末価格の高騰による買換え需要の減少や、他社からの乗換え販売に投じる、販売促進費用の増加が響いてくる。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業 (経営者)	・中東情勢の影響で円安傾向が進み、運賃が高騰するなど、不利な条件が続いている。また、混乱が収束して改善に向かうかも見通せず、不安定な状況にある。ただし、今のところは以前と比べて有利な条件ではないが、新規事業の開拓を進めることで、状況を打開していく。
	○	食料品製造業 (従業員)	・新製品も受注できるようになるなど、今後は上向き見込みである。ただし、資材や原料価格の改定が続いているため、利益の確保が難しくなっている。
	○	化学工業 (企画担当)	・ナフサ不足による包装用資材の欠品が懸念されたが、中東情勢の収束のめどがついたため、今後は安定した生産が見込まれる。ただし、夏季の食品需要の低迷期に入ることもあり、全体としてはやや良くなるというレベルである。
	○	金属製品製造業 (経営者)	・市場に明るさがみられる。
	○	電気機械器具製造業 (経理担当)	・ここ3か月ほどで、石油関係の問題の解決が進むと予想される。
	○	輸送業 (商品管理担当)	・7～8月は酒類の売上が増える。
	○	金融業 (営業担当)	・新入学や転勤等の異動に伴う動きが、夏休み期間にピークを迎える。来月頃から空き部屋の内装工事などが忙しくなると予想される。
	□	食料品製造業 (管理担当)	・具体的な打開策が見当たらない。
	□	繊維工業 (総務担当)	・魅力のある商品や、満足感のあるものづくりが、先行きの売上増加につながる。そのヒントを探しながら、販売を行っている。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業 (経営者)	・ナフサ由来の製品の供給状況は良くなってきたが、価格が高止まりしているため、ふだんどおりの生産ができない。
	□	化学工業 (製造担当)	・ライフサイエンス分野では、中東情勢の沈静化による変化は見込めないため、景気に大きな変化はないと予想される。
	□	プラスチック製品製造業 (経営者)	・2～3か月先までは受注を確保しているが、過剰気味であるため、その後の減少が心配である。
	□	窯業・土石製品製造業 (管理担当)	・物価の上昇や円安の進行、不安定な中東情勢など、不確定要素が多いなか、日本銀行の金利引上げで借入金利も上昇している。設備投資などは低調となる可能性がある一方、その恩恵を受ける部門や年齢層も存在するため、全体的には一進一退の動きとなる。
	□	一般機械器具製造業 (設計担当)	・物価の上昇で販売価格に影響が出ているが、企業だけでなく一般家庭でも無駄を省く傾向がみられるため、現状維持が可能となる。
	□	電気機械器具製造業 (宣伝担当)	・物価の上昇傾向に歯止めがかかる見通しが立たず、先行きの不透明感が増している。
	□	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・今後3か月は、気温の上昇が予想される。特に今年は前年以上の上昇が予想されるため、屋外で使用する物の購入は後回しとなる。
□	建設業 (経営者)	・今後も売上の増加は見込まれず、現状維持が予想される。	

	□	建設業（経営者）	・建設資材の不安定な納期が続けば、工期内の竣工が難しくなる作業所も出てくる。また、資材価格の高騰についても、長期の案件ではコスト管理が難しいなか、価格転嫁を取引先をお願いするしかなく、厳しい状況となる。
	□	輸送業（経営者）	・取引先の業務改善の案件が中止になったため、しばらくは今までの状況が続くことになる。
	□	輸送業（サービス担当）	・中東情勢の収束が期待できるものの、先行きは見通せない。
	□	経営コンサルタント	・取引先である中小企業の経営者は、中東情勢の影響に振り回されている状態で、株価に見合った景気の良さを実感できていない。今後も身の回りの景気が良くなる材料は見当たらない。
	□	その他サービス業〔受託調査〕（調査担当）	・中東情勢の不安が解消されつつあり、原油の輸入が徐々に再開されたが、取引先の話を見ると、ナフサが不足している状況は以前と変わっていない。また、原材料の調達を海外に依存している企業は、今後も価格の高騰が続くと予想される。
	□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・中東情勢が落ち着き、不足している商材が入り始めたが、値上げの動きが落ち着くまでは、景気が上向くことはない。
	▲	繊維工業（管理担当）	・資材価格の高騰により経費が10%増えている。
	▲	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・コストの増加が続くほか、今後は特需も見込めないことから、しばらくは厳しい状況が続く。
	▲	金属製品製造業（製造担当）	・今月は少し注文が増えたが、今後も増え続けるとは考えられない。値上げの影響などで、注文が減ることも懸念される。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いが減っているため、今後数か月先は業況が悪化する。
	▲	輸送用機械器具製造業（役員）	・搬送系のライン関連の案件で、中止や延期の動きがあるなど、予定どおりに進んでいない。
	▲	建設業（経営者）	・中小企業にとって、これ以上の賃上げは苦しいなか、日本経済はスタグフレーションの様相を呈している。
	▲	輸送業（営業担当）	・運賃の値上げが荷主に受け入れてもらえず、荷物量が減っているため、今月は大幅な売上減少につながっている。来月も減収が進みそうである。
	▲	輸送業（営業担当）	・納期が安定しておらず、売り逃しが発生している。
	▲	金融業〔保険〕（経営者）	・まだ物価の上昇が続くなか、改善する要因は見当たらない。
	▲	金融業（営業担当）	・ナフサの問題で仕入れがうまくいっていない企業が多くみられる。在庫はそろそろ底を突くという声も多く、今後は景気の悪化が予想される。
	▲	不動産業（営業担当）	・今後の建築資材の不足や値上がりにより、建物の価格がかなり上がる。金利も上がっているなか、客の購入可能な価格帯は決まっているため、結局は建てても売れないなど、景気は悪化に向かう。
	▲	広告代理店（営業担当）	・9月までは良い要素がないため、厳しい状況が続く。
	▲	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・駅ナカといった立地特性や、通勤、通学の動線上にあることを考えると、物価の上昇が続いても、都市部の店舗ほどは客足が遠のくことはなく、売上への影響は出にくい。ただし、原材料価格の高騰で、利益が相当圧迫されているため、商品への価格転嫁が必要となる。
	×	化学工業（経営者）	・今後のナフサ価格次第であるが、もし価格が下がらなければ、大幅な需要減が予想される。
	×	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・今後は経済環境次第となる。
	×	通信業（管理担当）	・今後は、原油不足の影響が更に大きくなる。
	×	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・材料費が高くなる一方、それに伴う値上げはできない。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・物価の上昇が続くなど、インフレが収まる気配がない。
雇用 関連	◎	—	—
	○	人材派遣会社（支店長）	・下半期に向けて、徐々に回復すると予想される。

(11 歳)	○	職業安定所（職員）	・中東情勢による原材料や備品の入荷への影響はみられるものの、求人数はまだ増加しているなど、雇用面への影響は限定的であるとみている。
	○	民間職業紹介機関（職員）	・6月は求人数の減少幅が大きいと、これ以上は落ち込まないと予想される。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人はやや増加傾向にあるが、中東情勢の先行きが不透明であるため、長期化した場合の求人数への影響が不安要素となっている。
	□	職業安定所（職員）	・夏休みを迎えて、娯楽、宿泊関連では需要が見込まれるものの、原油価格や物価の上昇により、その動きは限定的なものとなる。
	□	職業安定所（職員）	・中東情勢による影響を含めて、仕入価格の高騰や資材不足の声はあるが、企業努力による業容の拡大を期待する声もある。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	・閑散期に入るため、求人数、求職者共に減少し、2～3か月はその状況が続く。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・中東情勢が落ち着くとしても、積極財政の効果による実質賃金の増加はまだ先であり、現在は実感できていない。積極的なサービス実現のために求人を増やす事業所もみられるものの、従業員の高齢化や若年労働者の減少が、足元の求人増加を支えている。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・中東情勢の影響で、原材料が入手困難な状態が続いている。一部の小規模事業所は、この状態が続けば休業を考えざるを得ないが、大企業は原材料が入手できるようになりつつある。中小企業にも、こうした改善の動きが広がるかどうかを注視している。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・雇用市場の構造変化に対し、求職者側が即座に必要なスキルを習得することは難しく、ミスマッチによる失業や未就業層の増加が懸念される。こうした雇用環境の停滞感が消費などにも影響し、今後3か月の景気は、良くも悪くも大きな変化がないと予想される。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・事務職の派遣求人案件獲得が難しくなっている。AIによる自動化が難しい求人を中心に獲得するかに、派遣会社の生き残りが掛かっている。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	・中東情勢が落ち着かない限り、更なる物価の上昇や商品の不足により、景気は悪化する。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・物価の上昇やナフサ問題の影響が今後も続きそうであり、新聞などメディアへの広告やプロモーションの見込みは、前年比で95%程度への減少が見込まれる。
	▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・中東情勢の状況にもよるが、2～3か月後に景気が良くなるような、即効性のある対策は現実的に難しい。
	▲	民間職業紹介機関（営業担当）	・夏休みに入り、インターンシップなどは実際にプログラムが始まるため、新たに企業を探す学生は減ると予想される。一方、2027年卒業の新卒者は、本命企業の結果が出始めるため、内定のない学生は就職活動のやり直しや、新たな企業探しをする時期となる。それに伴い、新卒就職情報サイトよりも、新卒紹介のエージェントの需要が伸びる。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・学校や病院といった、コストの増加を価格転嫁しにくい業界と、価格転嫁しやすい業界の格差が広がっている。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	・中東情勢による原油不足があらゆる資材の供給不足につながっており、影響が拡大している。	
×	—	—	